

社会福祉法人 平野の里

事業報告書

平成 30 年度

社会福祉法人 平野の里

2019/04/01



目次

| | |
|---------------------------|----|
| 平成 30 年度を振り返って..... | 3 |
| 各事業報告..... | 5 |
| 共同生活援助 グループホームあやめ..... | 5 |
| 相談支援事業ひらの..... | 6 |
| 生活介護 障害者支援施設あやめ寮..... | 7 |
| 個別活動報告..... | 8 |
| りさいくるG..... | 8 |
| ふあくとりーG..... | 8 |
| ふあーむG..... | 9 |
| すまいるG..... | 9 |
| くりーんG..... | 10 |
| 虐待防止・権利擁護委員会..... | 11 |
| 高齢加齢配慮検討委員会..... | 13 |
| 防災委員会..... | 14 |
| 事故マニュアル委員会..... | 15 |
| 医務食事委員会..... | 16 |
| 医務看護部門..... | 16 |
| 食事部門..... | 17 |
| 生活支援委員会..... | 17 |
| 利用者自治会・施設内余暇活動..... | 18 |
| 施設行事委員会..... | 20 |
| あやめ協力会..... | 21 |
| 実習生・ボランティア..... | 22 |
| 短期・日中一時..... | 23 |
| 保護者会担当..... | 25 |
| 備品係..... | 26 |
| 地域貢献PJT..... | 27 |
| 美化..... | 28 |
| 車輛..... | 29 |
| 広報委員会..... | 29 |
| ホームページ..... | 30 |
| 職場研修..... | 31 |
| 平成 30 年度 主な研修参加実績..... | 32 |
| 平成 29 年度職員研修旅行(宿泊研修)..... | 34 |
| 関係機関・団体出向者..... | 34 |

| | |
|------------------------|----|
| 採用活動 | 35 |
| 会社説明会実施後のアンケート結果 | 36 |

平成 30 年度を振り返って

社会福祉法人 平野の里
あやめ寮施設長 倉持 一雄

平成最後の年～新元号へ

・平野の里あやめ寮の節目の年でした。先代の大きな苦勞を思い知りながら 30 周年式典を挙行し、新たなスタートを致しました。時代による法律・福祉政策・人材不足から改めて平野の里の重責を担う職員への期待と育成の責任を感じました。利用者様への思いは 30 年前と変わりませんがその真意をさらに繋ぐ策を今も畑を見ながら考えています。

・子供食堂開設の意図は共生・共生と言いつつも進まぬ施策と子供の虐待が報道され社会の悲惨を感じ、ささやかですが現場から声を上げ実践することにしました。幸い 5 月 26 日試運転開始しました。今後も試行錯誤で進めます。

・支援職員人材確保は各大学訪問説明や事後もプロに近い職員の配慮戦略の努力にてよく集まったがまだ不足です。有給休暇の取得・家族都合の休暇・新元号の祝休暇・夏休・冬休・インフルエンザなどの休暇で現場職員配置は人数を満たさねばならず職員にお願いして休暇の年間調整を考えています。

・2020 年東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので現状の進まぬ取り組みも多少進歩が期待されると思いますが、平野の里としましては終了後も支援力・人材育成・建て替え計画と利用者様が安心して利用できる環境づくりと職員が安心して働ける職場づくりため中長期計画を本格的に進めます。

・行事は大行事の盆踊り大会・地域理解行事のチャリフェスタ両方とも晴天に恵まれ協力者様のお陰で大成功でした。準備には職員の連日の苦勞がありましたが成功という褒美に笑顔満杯になり良かったと思います。もちろん施設内の花見や旅行、毎月の行事も工夫され充実して成功と評価しています。健康第一に毎年繰り返される行事に参加して楽しめる力を大切にしたいと思います。

・平成 31 年 3 月末正職 1 名寿退職・パート女性(体調整え)退職・パート男性(遠方実家に戻るため)退職と皆さんお互い感謝してお別れしました。

・平成 30 年 4 月 9 日病院にて男性利用者が死亡され退所しました。兄夫婦とあやめ寮職員で葬儀をしました。

平成30年度事業体制

設置運営主体 社会福祉法人 平野の里

事業種別及び定員

①障害者支援施設 あやめ寮 開所年月日 昭和63年3月1日

主なサービスと定員

| | |
|--------|------------|
| 入所支援 | 定員50名 |
| 生活介護 | 定員75名 |
| 短期入所 | 定員 2名(併設型) |
| 日中一時支援 | |

②グループホームあやめ

- GH あやめ:定員5名
- あやめ壺番館:定員10名
- あやめ式番館:定員10名

③障害者生活支援センター ひらの

私共、社会福祉法人平野の里は、平成30年3月30日付で、「シニア活躍推進宣言企業」に次いで「多様な働き方実践企業」に認定されました。埼玉県が実施している、女性の力で埼玉経済を元気にする「ウーマノミクス プロジェクト」の取組みの一つに「多様な働き方実践企業」認定制度があります。短時間勤務やフレックスタイムなど多様な働き方を実践している企業を埼玉県が認定するものです。

当法人は、職員個々のニーズに即した働き方を進めながらイキイキと働ける職場でありたいと思っておりますが、今回の認定区分では「ゴールド」と評価されました。(すべて該当=プラチナ、4つ以上該当=ゴールド、2つ以上該当=シルバー)

これを機に、女性にとっても男性にとっても、シニアにとっても働きやすい環境づくりを促進し、法人の発展を目指してまいります。



各事業報告

生活介護・施設入所

●定員 50 名

| 障害者支援施設あやめ寮利用者障害支援区分分布 | | | | | | | | |
|------------------------|-----|-----|----|---|---|---|-----|-----|
| 区分 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 重度 | 計 |
| 男性 | 16名 | 12名 | 4名 | | | | 9名 | 32名 |
| 女性 | 9名 | 9名 | | | | | 7名 | 18名 |
| SS | 1名 | | 1名 | | | | | 2名 |
| 合計 | 26名 | 21名 | 5名 | | | | 16名 | 52名 |

※生活介護通所利用者 23名 (2019年3月31日現在)

平均年齢 48.2歳 平均支援区分 5.43 (2019年3月31日現在)

共同生活援助 グループホームあやめ

| グループホーム事業利用者障害支援区分分布 | | | | | | | | |
|----------------------|----|----|----|----|----|---|----|-----|
| 区分 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無 | 計 |
| GH あやめ | | | 1名 | 1名 | 1名 | | 2名 | 5名 |
| 壺番館 | 5名 | 5名 | | | | | | 10名 |
| 式番館 | 4名 | 4名 | 2名 | | | | | 10名 |
| 3ホーム計 | 9名 | 9名 | 3名 | 1名 | 1名 | | 2名 | 25名 |

平均年齢 52.1歳 平均支援区分 4.64 (平成31年3月31日現在)

主な活動 4月1日 あやめ壺番館6年目あやめ式番館4年目スタート。式番館として上高野大蔵地区自治会内、体育協会役員留任～地区役員会等随時参加。

毎月円藤内・上高野クリーン実施。上高野夏祭り運営側としても参加。8月：あやめ寮盆踊りに参加。9月9日面会日個別支援計画説明、各ホームにて。10月7日上高野地区体育祭運営側として参加。

本体・地域合同にて1泊旅行日帰り旅行実施。11月18日チャリフェスタ地域の方も招待へ。1月13日上高野地区歩け歩け大会、運営側としても含め初参加。2月1日グループホームあやめ12年目スタート。2月下旬～3月上旬3者面談実施。3月10日上高野大蔵地区行政区総会へ参加。各ホームが地域での暮らしを深めていく中でどのような役割であり連携の深め方が有効か日々自問自答しながら過ごしている中でこのような形で地域での関わり連携を深めていく機会を得ることができ、ホームとしての存在意義を再確認することができました。

活動実績

GH あやめ・あやめ式番館大家：増田様稲葉様、GH あやめ、壺番館、式番館近所近隣、就労支援センター、他関係機関へのお中元、お歳暮の贈答の経過対応を図っております。各種歌謡発表会、フリーマーケットへの参加。規模やスケジュールにも即した参加経過

をたどっております。 散髪：壺番館式番館利用者：ヴァーサスさんシャガールさん利活用にて経過。 消防訓練とともに、水害訓練として2次避難先への移動訓練をしています。

課題

冬季のインフルエンザは、法人内で唯一就労利用者が感染し、出勤停止の経過がございました。入院手術による疾患に対する善処が相次ぎ、今まで以上に健康面への留意が欠かせなくなってきました。我々事業運営課題とは別箇の内容ともなりますが、地区自治会役員の成り手不足やこども会の廃止など地域を取り巻く環境状況が様変わりしつつあります。その中で福祉法人や各事業所がどのような地域との関わりを踏んでいくべきが思案しているところです。こども食堂の運営なども、ひいては市内の動静を知りえることで切実な取り組みとして法人だけに留まらず関係各位との連携した取り組みとして位置づいていくものと捉えております。

相談支援事業ひらの

主な活動

- ・対象地域（蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町・その他）に住む障害のある方や、その家族のための相談窓口となる
- ・自立支援協議会に参画し、定例会議をはじめ、各部会、研修会等への参加及び計画。
- ・社会資源を活用するための支援
- ・権利擁護のための必要な支援
- ・福祉サービスの利用援助
- ・生活困窮者相談支援（彩の国あんしんセーフティネット）

【参加研修・会議】

- ・埼葛北地区自立支援協議会（運営会議、調整会議、各部会・プロジェクト、GSV等）
- ・あんしんセーフティネット 担当相談員養成研修（CSW研修含む） 5/22、6/1、6/26
- ・あんしんセーフティネット 第4ブロック会議@久喜菖蒲文化会館 7/20、2/20
- ・相談支援従事者初任者研修…6/5、6/8、8/8、9/10、9/11
- ・相談支援従事者現任研修…12/17、1/7、2/5

活動実績

○計画相談支援

サービス等利用計画書作成件数

- ・担当件数 128名（新規作成 17件 モニタリング 185件）

○一般相談支援

・委託相談支援 担当件数 45名

・地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援） 担当件数 0名

●あんしんセーフティネット支援件数

・0件

課題

- 個々のケースワークから、地域課題を拾い、課題解決に対する視点を持つ
- 地域相談支援の実績作り
- 今後の事業運営を見つめ、建設的な相談支援専門員増員

生活介護 障害者支援施設あやめ寮

- 定員 75 名 ●平均利用実績：72.8 名 ●利用人数：75 名
- 作業時間 月～金曜日 9：45～11：45・13：15～14：45 計 3 時間 30 分の作業活動
- 作業場所 ブラウン棟・レッド棟・グリーン棟・寮内・野外活動等
- 作業月報で下記のことを報告
 - ・作業実績（月々の収支実績・重点利用者の支援課題と支援方法・班内の課題や問題点）
 - ・個別支援計画に基づいた月間利用者別評価
- 作業活動収支 ※（ ）は前年度数値

| | 年度支出合計 | 年度収入合計 | 年度収支実績 |
|---------|-----------------------|------------------------|------------------------|
| ふぁくとりーG | ¥26,797 (¥93,721) | ¥386,996 (¥380,810) | ¥360,199 (¥287,089) |
| ふぁーむG | ¥8,078 (¥62,251) | ¥22,400 (¥168,835) | ¥14,322 (¥106,584) |
| りさいくるG | ¥38,900 (¥2,296) | ¥340,281 (¥439,735) | ¥301,381 (¥437,439) |
| くりーんG | ¥4,580 (¥27,623) | ¥0 (¥0) | ¥-4,580 (¥-27,623) |
| すまいる | ¥0 (¥24,704) | ¥0 (¥0) | ¥0 (¥-24,704) |
| 年度合計 | ¥78,355 (¥210,598) | ¥749,627 (¥989,380) | ¥671,322 (¥778,782) |

※ 昨年度比 ・ ・ ・ ・ 支出約 63%減、収入約 24.3%減、収支約 13.8%減

今年度の取り組みと今後の展望

昨年に引き続き、少しでも、やりがいを持って取り組んでいただけるように作業種を精査しながら進めてまいりました。作業種・内容ともに充実を図るべく、既存の活動を軸に、さらに新規作業種にも目を向けながらアンテナを張っております。

引き続き、幸手市における障害福祉サービスのニーズに対して受皿が充実しているとは言えませんので、生活介護の支援ノウハウを蓄積し、さらに支援対象者が増加しても支えられるような環境や内容を構築していきたいと考えております。グループホームのように生活の場を地域へという制度がございますが、生活の場だけが地域へという考えではなく、日中活動の場を地域に求める「活動の場の地域移行」も視野に入れながらアンテナを張って業務遂行・アイディアの創出にも取り組んでいきたいものです。

個別活動報告

りさいくるG

【活動内容】

- ・作業工程：①回収物選別②アルミ缶潰し（足、手）③プルトップ取り
- ④ペットボトルキャップ外し・リサイクル⑤ロードサポート⑥缶回収
- ・活動体系
- ・AM：新作業棟にて缶潰し・缶の選別・ペットボトルキャップ取り・缶回収
- ・PM：ロードサポート・機器部品組み立て作業（軽作業）・DVD作業・もぎり作業

課題

・今年度のまとめとして、昨年度と変更になった、部品組み立て作業は、行い始めた当初は出来ない利用者の方の方が多かったが、回数を重ねるごとに出来る方が増え、皆一生懸命に行うことが出来た。完成した品物を地域の方に渡すということを理解している者の方もおり、「仕事」として良いプレッシャーを感じてくれていると思えました。全体としては、夏季の暑い時期にも、熱中症の方を1名も出さずに作業を行えたことは大きな成果と感じております。細目な水分補給、塩分タブレットの提供、涼しい環境での作業提供など、利用者様が安全第一で参加出来るという目標は達成できたかと思えます。施設内での高齢化が徐々に進んでおり、今後、「安全第一」という言葉がより一層強く認識されるかと思えます。来年度以降も、利用者一人一人の安全に配慮した作業提供はもちろん、利用者の方が、より一層、やりがいのある環境にしていけるよう配慮していきたいと思えます。

ふぁくとりーG

【作業内容】 差し込み・もぎり・DVD・ウエス・コネクトプランニング

【活動実績】

今年度の受注作業は、概ね切れ間なく作業を行なっています。利用者関係では、皆さん比較的落ち着いて取り組むことができています。利用者さんの作業能力に応じて、他の作業班と協力し、午前はふぁくとりー作業、午後は他の作業班で作業を行うなど、個別の支援を意識して取り組めたことは良かったと思えます。昨年度収入実績が¥380,810であり今年度は¥386,996とわずかながら収入が増加している。

課題

- 2月頃からDVD作業が全くなくなってしまい、今後も見通しが立たない状態であり、現在はもぎり・内職作業・制作活動で行っている。今後、DVD作業を続けるにあたって、新たな取引先を探すのか、現在の取引先から新しい作業がいただけるか検討していく必要がある。
- 供給量が多いと、納品が間に合わなくなることがあり、納品の調整。

ふぁーむG

【活動内容】

土運び 野菜の水やり ハウス内の水やり 畑の草取り 野菜の苗を畑に植える。野菜の種をポットに植える。トラクターで畑を耕す。買い出し（肥料や道具をジョイフル本田で購入する。）雨の日は花の本を見る。DVD 作業。パンジー・ビオラ・マリーゴールド・ペチュニアの栽培 野菜のマルチはり 野菜や花の消毒 野菜の収穫季節収穫（青梗菜・小松菜・ねぎ・たまねぎ・きゅうりなど）⑩マルチはり ⑪土寄せ

ふぁーむのメンバーでは、なかなか集中して取り組めない方がいるので利用者個人の能力や適正を見極め、得意の分野で取り組んでもらい一人一人が活躍できるようにしています。無理をしないで一人一人の利用者にあった作業内容になっています。

主に野菜はあやめ寮の厨房（ハーベスト）に野菜を納品しています。自分達で作った野菜が食事に出ることですごく喜んでいきます。

ビニールハウスでは、種から野菜や花を育てることができました。

種・苗・肥料の買出し。毎月1回はジョイフル本田に行き、買い物をしています。野菜の苗を一緒に選んだり、肥料を運んだりして手伝ってもらっています。一緒に買い物をすることで農業に興味を持ってもらうことがねらいです。8月から9月にかけて暑い日が多く野菜の育ちが悪かったです。野菜作りに時間がかかり、花作りがあまりできなかつたです。

【課題】

夏の暑さや作業の配置の職員が変わってしまうことで野菜はあまり作れないと思う。一年間でイベントなり前持って計画をしないとスムーズに行うことができなかつた。体力維持のために自転車こぎがあるとよい。一台あるとよい。冬場は寒いので散歩がいけない時。

すまいるG

【主な活動内容】

●すまいるグループではあやめ寮生活介護事業の一環として、リハビリ及び利用者の健康増進・趣味的活動を通じての情緒の安定を目的に各個人にあったプログラムを作成し、活動に取り組んできました。

●活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）

●活動内容 全体活動…テレビ映像を利用した体操・歌謡曲を利用したリズム体操

・ストレッチ運動 ・日光浴 ・ウォーキング ・音楽鑑賞

・ボール遊び ・カラオケ ・バスドライブ

個別活動…平行棒、歩行器、エクサペダル等専用器具を使ったりリハビリ

・腹筋その他の筋力トレーニング ・文字書

【活動実績】

- 所属利用者の健康増進および情緒面の安定を主な目的として、体操・ストレッチ・ウォーキングなど体を動かす活動。
- カラオケ大会やバスドライブ等、利用者の要望を取り入れた、レクリエーション的活動。

課題

- 所属利用者の障害特性により、活動に前向きになれない方への活動の提供方法の工夫。
- 活動内容がマンネリ化してしまい、新たな取り組みの検討が必要と思われる。

くりーんG

【主な活動内容】

●AM は本棟の清掃活動、洗濯物仕分けを実施。PM は本棟の清掃活動、利用者さんの着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、体操を実施。職員体制に余裕がある場合には重点的に支援が必要な利用者さんへのフォローやマンツーマン対応を行い、各々のスキルアップに取り組んでいる。

○AM

廊下・SS 居室・食堂掃除機掛け、廊下・居室・食堂・脱衣場のモップ掛け、身障者トイレ、玄関掃除、流し掃除、お茶準備、ゴミ集め、ゴミ捨て、手すり拭き、食堂椅子拭き、配膳用白衣戻し(月・水・金)、男女アカスリ仕分け、男女利用者さん洗濯物仕分け、シーツ・マット類畳み、洗濯物運び、ネットの洗濯物畳み、タオル畳み 下駄箱掃除

○PM

男女利用者さん居室掃除機掛け、手すり拭き、窓・レール掃除、スリッパ拭き、男女利用者さん着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、お茶の準備、体操、日光浴【活動実績】

- ・リネン室の整理、備品の確認(必要に応じて備品係と連携)。
- ・PM にて余暇活動を実施。年三回
(パフェづくり・お菓子デコレーション・ケーキデコレーション)。

課題

- ・洗濯物の量が多い場合(特に冬季)の職員介入に関して。
- ・各作業の質の向上。
- ・自身の役割分担が早めに終了した利用者さんへの対応・作業提供。
- ・利用者さんの身体的変化への早めの対応。
- ・AM は3名体制が望ましいが職員体制上2名になる日が多い。
- ・タオルたたみをする利用者さんが多くなっているため、他の作業も考えていかなければならない。

虐待防止・権利擁護委員会

職員による虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることを目的として、法人全体にセルフチェックリストを配布し、職員の支援方法や態度について振り返りを行った。また、対応が困難なケースなどについてアンケートを取り、事例検討会を実施することで対応方法の共有を図った。更に、虐待や権利擁護について学ぶ機会を設けるため、外部の講師を招いて施設内研修を実施した。また、毎月接遇目標や虐待防止指針を設定して朝礼で唱和することで、虐待や権利擁護に関する発信を行った。年間のスケジュールとセルフチェックリストの集計数は図の通り。

【主な取り組み】

- 委員会開催（隔月6回）。
- セルフチェック配布・集計（2ヶ月毎）
- 苦情ポスト設置・集計（毎月）
- グリーゾーンアンケート配布・集計（7月）
- 接遇目標/虐待防止指針更新（3ヶ月毎/毎月）
- 虐待防止研修（月）
- 事例検討会 名称決定：ハッピーハンド

課題

- セルフチェックリストに自由記述の欄を設けるなど、内容の見直し。
- 法人全体の言葉遣い（呼称や丁寧語）の改善。
- 事例検討会や施設内研修の実施時間（半勤務職員の参加など）。

| 職員セルフチェックリスト | | |
|--------------|----------|----------|
| 5月 | 本体35/44件 | 地域14/18件 |
| 7月 | 本体32/43件 | 地域11/13件 |
| 9月 | 本体30/43件 | 地域8/13件 |
| 11月 | 本体28/41件 | 地域5/12件 |
| 1月 | 本体26/43件 | 地域5/13件 |
| 3月 | 本体28/40件 | 地域6/12件 |

平成30年度 虐待防止・権利擁護委員会

| | 会議 隔月 | 事例 検討 日程 案 | 研修 講師 | セルフ チェック集計 職員(敬称略) | 苦情ポスト 職員(敬称略) | 接遇 3ヶ月ごと | 指針設定 職員(敬称 略) | | | |
|-----|----------|---------------------|---------------------------------|---|---|--------------------------|---------------------|--|-------------------------|----|
| 4月 | | | 邑元会 しびらき 施設長 相浦卓也 様 | 本体：小松・ 山口 壹番館：浅川 貳番館：伊藤 増田：浅川 | 本体：小松・山 口 壹番館：浅川 貳番館：伊藤 増田：浅川 | あいさつは相 手の目を見て 元気よく | | | | |
| 5月 | ○ | | | | | | 支援専門 員 | | | |
| 6月 | | | | | | | | | | |
| 7月 | ○ | 準備 | | | | | | | 受け答え元気 で明るく明確 に | 伊藤 |
| 8月 | | | | | | | 山口 | | | |
| 9月 | ○ | 実 施 | | | | | 小林 | | | |
| 10月 | | | | | | | | | あいさつは元 気で明るくニ ッコと | 山崎 |
| 11月 | ○ | 準備 | | | | | 支援専門 員 | | | |
| 12月 | | | | | | | 伊藤 | | | |
| 1月 | ○ | 実施 | | | | | | | あいさつに続 く言葉は思い やり | 山口 |
| 2月 | | | | | | | 小林 | | | |
| 3月 | ○ | | | | | | 支援専門 員 | | | |

高齢加齢配慮検討委員会

●委員会メンバー

●会議回数：年4回（2月の会議は職員不在があり会議なし。）

●高齢知的障害者の施設における援助方法の理解促進。

●事業所内の利用者の高齢化・加齢に伴う課題について検討し、今後の支援における基盤づくり

●高齢化した利用者を対象に予防を考え提供する。音楽療法や体を動かしてもらうことで楽しんでもらう。

●職員向け高齢疑似体験を実施。

タイムスケジュール

13:15 会議スタート

13:20～14:40 DVDを見て説明を聞く

13:45～14:00 一人目着替え

14:00～14:20 高齢者疑似体験 一人目 着替えをし、スタート

14:20～14:30 二人目着替え

14:30～14:45 高齢者疑似体験 二人目 着替えをし、スタート

14:45 終了

3 ルート 司会浅川課長 映像関根

職員二人組になって体験をしてもらうか。（高齢者体験をする人と介助をする人）

① 新棟2階スタート→新棟2階階段下りる。→ガレージの前を通る下り所。 浅川

② 本棟駐車場で車の乗り降り・誘導 関根

③ 浴槽出入り 須永

④ 談話室で字を書く・塗り絵・テレビを観る 本澤

⑤ 食堂で字を書く→箸で大豆をつまむ（コップ・箸・皿）→服をたたむ 田村

⑥ 新棟に戻る

4 ペア－担当（時間がない場合は一人目のみ行う。）

① 日俣・壱岐② 松本・簗島 ③ 峰村・小林 ④ 石田・山崎⑤ 武井・前島

【活動実績】

・●高齢者疑似体験をしてもらった後アンケートを書いてもらい今後の支援に役立てる。また来年度に向けて改善をしていく。

課題

●利用者個々によって課題が違うので全体を通して支援することが困難でした。

●高齢者疑似体験の研修は今後も実施して行きたいと思っている。

防災委員会

近年危惧されている「大地震」への備えや、「水害」への対応検討を始め、火災予防、防犯対策など災害等のリスクに対して少しでも対応がスムーズにできるように日頃から検討し、除法を共有する活動を進めていくために、委員会として率先して減災に向けた取り組みを進める。また、福祉避難所としての指定を受け、開設に向け模擬訓練なども行う。

【主な取り組み】

- ・防災計画の策定
- ・年間計画に基づく防災活動
- ・自衛消防活動（避難消化訓練）の実施・検証
- ・消防署関係機関との調整共有
- ・減災に向けた取り組みの啓蒙
- ・緊急連絡先策定
- ・非常用備蓄の確認
- ・点検及び非常持ち出し袋の点検
- ・BCP事業継続計画の策定見直し主な活動実績
- ・水害、積雪対策等、施設で想定される災害について対応検討
- ・幸手市防災安全課との情報共有や福祉避難所についての検討

防災・防犯訓練

| 日時 | 内容 | 備考 |
|-------------------|---|--------------|
| 4月19日 13:30～15:00 | 夜間職員三名体制の中、厨房調理器具より出火。寮庭へ避難誘導。通報訓練。消化訓練。 | 消防署立ち合い。 |
| 6月27日 13:30～15:00 | 夜間職員三名体制の中、厨房調理器具より出火。寮庭へ避難誘導。通報訓練。消化訓練。 | 消防署立ち合い。 |
| 11月2日 15:00～16:00 | 市役所より、福祉避難所の開設依頼の連絡が入ったところから始まり、各所の点検や準備にどの程度の時間や物品が必要かを動きの中で探り出していく。 | 委員会メンバーにて実施。 |

課題

- 避難誘導マニュアルの見直し●非常備蓄品の検討●災害対策用品の充足
- 避難訓練の内容の検討●災害時の電源、連絡手段等の確保

事故マニュアル委員会

●事故マニュアル委員会では、月毎に挙げられた事故・ヒヤリハット報告書を1枚1枚振り返り、改善案を検討する会議を行っています。また関係する機関や担当へ繋げ担当より改善策を周知する形式で業務を進めています。月毎の事故・ヒヤリハット報告書のまとめは今年度も継続して行い、重要ポイントを職員会議で報告することで、職員間での共通認識と危機意識の向上を図っています。会議では事故報告書の検証だけでなく、業務マニュアルの更新も同時に行っています。一つ一つマニュアルを見直し、日々目まぐるしく変わる支援方法に対応し、最新の情報に追加、訂正を行うことで、職員間の支援方法の統一に向けた取り組みを行いました。

3月には事故マニュアル委員会からケース会議で「危険予知」について説明し、グループワ
活動実績 ●委員会の月1回の開催 ●月毎の事故・ヒヤリハット報告書のまとめと職員会議での周知 ●業務マニュアルの更新（補足・削除）

課題 ●事故報告書は多く挙がるようになってきたが、ヒヤリハット報告書を挙げる意識がまだまだ定着していないので、事故に至る前段階としての重要な役割を持つ報告書だと認識させる努力が委員会としての課題。●事故報告書の書式の見直し

●地域と本体の事故報告書の共有方法

成30年度 事故報告・ヒヤリハット報告書件数

| | 転倒 | 自傷 | 他害 | 怪我 | 投薬ミス | 無害 | 異食 | 物損 | その他 | ヒヤリ |
|-----|----|----|----|----|------|----|----|----|-----|-----|
| 4月 | 3 | 2 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 5月 | 9 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 6月 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 7月 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 |
| 8月 | 4 | 1 | 3 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 9月 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 10月 | 10 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 11月 | 6 | 0 | 3 | 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 12月 | 13 | 1 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 1月 | 7 | 0 | 0 | 5 | 4 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 2月 | 4 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 3月 | 7 | 3 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |

【数値で見る傾向】

全体的に見ると、ほぼ横ばい。昨年合計196件に対し今年度は193件。

ひやりに関しては、昨年度53件に対して今年度は21件と減少しているが、課題と捉えられる。内訳をみると、転倒が今年度も多く見られた。次いで、怪我、投薬ミスと続いている。

医務食事委員会

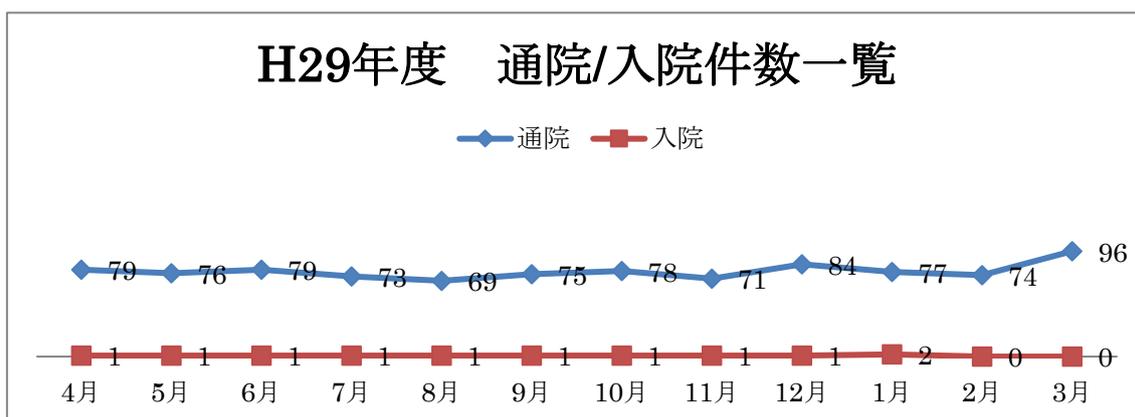
医務看護部門

《実績活動》

- ・ 医務会議の運営、会議内容の周知
- ・ マニュアルの見直し
- ・ 各医師へ、利用者の報告書の作成・確認
- ・ 健康診断準備と運営
- ・ 歯科検診準備と運営（9月）
- ・ 既往歴の更新
- ・ インフルエンザ予防接種準備と運営
- ・ 感染症予防対策・対応

《通院分析》

定期通院件数が多くなり、昨年度の通院件数は443件であったが、8件増加。今年度は、インフルエンザ感染者の発生はなかった。3月に通院件数が増えた要因は、季節の変わり目で体調不良者が多く通院が増えたが、数日で体調回復されている。



平成30年度入院状況

| 入院者名 | 病院名 | 疾病内容 |
|------|------|------------|
| Aさん | 秋谷病院 | うっ血性心不全 |
| Bさん | 秋谷病院 | 低アルブミン血症 |
| Cさん | 秋谷病院 | 細菌性の胃腸炎 |
| Dさん | 栗原病院 | 網膜剥離・白内障手術 |
| Eさん | 秋谷病院 | 蜂窩織炎 |
| Fさん | 秋谷病院 | 蜂窩織炎 |

食事部門

《実績活動》

- ・ 食事会議の運営
- ・ 会議内で、各利用者の体重・栄養状態・摂取状況などの確認
- ・ 会議内で、誕生日食、行事食などの確認
- ・ 会議内で、検食簿の確認
- ・ 検食簿の一覧作成と確認
- ・ 食堂の掲示物作成
- ・ 食堂座席の名札の定期的な張替え
- ・ 嗜好調査の配布
- ・ 金田亭様をお招きして、ラーメンをふるまっていた

生活支援委員会

ご利用者の生活全般を支援することを目的として、年間を通して余暇活動の準備と自治会の運営、散髪の手配を行った。年間のスケジュールと各理容店の利用延べ人数は図の通り。

・平成30年度 希望旅行実績

| 企画名 | 時期 | 参加利用者数 | 引率数 |
|---------------|-----------|--------|-----|
| 長野新幹線で行く軽井沢の旅 | ①10/24-25 | 6名 | 3名 |
| ディズニーランド | ①11/5-6 | 8名 | 4名 |
| | ②11/7-8 | 6名 | 3名 |
| 鬼怒川温泉旅行 | ①7/2-3 | 10名 | 4名 |
| | ②7/5-6 | 10名 | 4名 |
| 東京観光及びプロ野球観戦 | ①6/6-7 | 6名 | 2名 |
| | ②6/22-23 | 4名 | 2名 |
| 近隣旅行 | ①8/10-11 | 6名 | 4名 |
| | ②10/18-19 | 4名 | 3名 |
| むさしの村日帰り旅行 | 10/22 | 11名 | 7名 |

課題・希望外出・一昨年の振り返りから、高齢・体力低下を考慮して、個別要素の強い外出案を提示し、実施・運営出来た。幅広いニーズに応える内容となったと思われる。

利用者自治会・施設内余暇活動

| 月 | 自治会内容 | 施設内余暇 | |
|-----|--------------------|---------|--------------|
| 4月 | 会議(職員のみ)、利用者役員顔合わせ | | |
| 5月 | カラオケ大会 | こいのぼり余暇 | 5/10 こいのぼり作り |
| 6月 | 熱中症・食中毒に関して | | |
| 7月 | 短冊発表 | 七夕 | 7/12 花火大会 |
| 8月 | 不審者対応 | | |
| 9月 | カラオケ大会 | ハロウィン準備 | |
| 10月 | 未実施 | ハロウィン | 10/31 仮装・クイズ |
| 11月 | ブラッシング指導 | クリスマス準備 | |
| 12月 | 未実施 | クリスマス | 12/25 ツリー製作 |
| 1月 | 新年の抱負 | 新年会 | 1/9 作業別歌合戦 |
| 2月 | インフルエンザ | 節分 | 2/2 豆まきクイズ等 |
| 3月 | | ひなまつり | 3/1 ケーキ作り |

※その他:施設生活で困っていること、利用者さんからの意見への返答、行事周知など。

地域交流会参加実績

| | | |
|----|--------------|-------------|
| 5月 | さわやか交流会(発表有) | ポピーカラオケクラブ様 |
| 6月 | 花のステージ | 幸手市歌謡連盟様 |
| 8月 | こころのうた・愛の歌 | 麻衣の音楽教室様 |
| 9月 | 巡礼桜(発表有) | 沢明日香様 |
| 9月 | 夢舞台 | さくら歌謡クラブ様 |

平成30年度各理容店別利用延べ人数

() 前年実績 数値は人数

| 月 | 鈴木理容店 | スノップ | 落合理容店 | 合計 |
|----|----------|--------|----------|----------|
| 4 | 14 | 5 | 0 | 19(27) |
| 5 | 8 | 5 | 12 | 25(28) |
| 6 | 12 | 6 | 9 | 27(26) |
| 7 | 8 | 7 | 7 | 22(27) |
| 8 | 7 | 7 | 9 | 23(22) |
| 9 | 8 | 6 | 12 | 26(25) |
| 10 | 0 | 8 | 15 | 23(27) |
| 11 | 7 | 6 | 11 | 24(25) |
| 12 | 9 | 4 | 10 | 23(23) |
| 1 | 8 | 6 | 13 | 27(28) |
| 2 | 10 | 5 | 0 | 15(22) |
| 3 | 9 | 6 | 8 | 23(30) |
| 合計 | 100(123) | 71(62) | 106(125) | 277(310) |

【課題】

- 各理容店の希望人数に偏りがあるため、振り分けが必要。また当日散髪対応した職員が実施した人数を散髪係に伝えなかったり、請求書を事務のレターケースに入れてくれないなどの事があったので、今後対応策が必要と思われる。
- 自治会は実施できないことがあったので、次年度は毎月実施を目指す。
- 新年会が2年連続で感染症拡大により中止となったため、今年度は棟内にて実施。
- 苦情の取り扱いについて、虐待ポストへの投函と同義とし、虐待防止委員会に繋げていく。

施設行事委員会

あやめ寮の2大行事に関しまして、平成30年8月18(土)に盆踊り大会が開催され、平成30年11月18日(日)にあやめチャリフェスタが開催されました。両イベント共にたくさんの来場者がお越しになり、地域の方々をはじめ、近隣の障害福祉サービス事業所からも多く関係者の方がお見えになりました。

盆踊り大会に関しましては、恒例の灼熱の中「やぐら建てや提灯付け」の会場設営におきましてもボランティアの方々にもご協力いただき、しっかりと会場設営が出来上がり、当日は、高温が心配されていましたが、湿度も低くカラッと爽やかな風が吹く中で、盛大に開催することができました。

あやめチャリフェスタに関しましては、大変多くの障害福祉サービス事業所にご参加いただき、昨年同様に当法人を含め7法人(社会福祉法人杉風会 庄内・社会福祉法人啓和会 久喜けいわ・社会福祉法人平徳会 こしがや希望の里・社会福祉法人聖徳会 行田園・特定非営利活動法人 あかり あかりワークス国納・特定非営利活動法人 らら笑会)が、販売や施設対抗のど自慢大会にご参加いただきました。今年度は比較的安定した天候の中、内外ともに盛り上げていただき、ホールでの芸能イベントも力強い和太鼓演奏や、優雅なフラダンス、大盛り上がりの施設対抗のど自慢大会や、あやめ寮の出し物も、新人職員とご利用者様のコラボや、例年以上の出来栄えのAYAME11の素敵なダンスや一丸となったステージで多くの方々から「感動した」「すごく良かった」とお褒めの言葉を頂きました。

また、両イベント共に今年度も、ボランティア・インターンシップなどを通じ、多くの皆様に支えて頂いた印象が大きく残っております。

●活動実績

●H30年度お花見

日時：平成30年4月2日(月) 11:30~13:00

旧消防署を使用したお花見実施。余興、新人職員紹介。関係者を招待し交流を兼ねたイベントとして実施。

【事前準備】

※駐車場の確保、看板作り、食材検討、必要材料の調達、食器類の調達

●盆踊り

平成30年8月18日(土) 14:30~19:00

W.A.G バンド演奏、踊り、模擬店(焼きそば・焼き鳥・たこ焼き・フランク・唐揚げポテト・かき氷・ジュース)、

子供向けコーナー、打ち上げ・仕掛け花火 の実施

【事前準備】

※W.A.G事前打ち合わせ、櫓建て・提灯付け・テント張り・ポスター・案内状作成と送付、駐車場の確保、ボランティア協力依頼・調整、看板作り、模擬店の食材検討・調達、必要機材・材料の調達、模擬店用食器類の調達、駐車場整備

●あやめチャリフェスタ【行事委員は屋外イベント運営】

日時 平成30年11月18日(日)11:00~16:00

場所 幸手北公民館駐車場

W.A.Gバンド遠演奏、芋煮・焼きそばの振舞い、バザー品・餅販売、あやめ寮及び葛西さんの野菜販売、近隣福祉施設の物品販売。

【事前準備】※W.A.G事前打ち合わせ、餅つき、幸手市広報依頼・駐車場の確保、ボランティア協力依頼・調整、看板作り、食材検討、必要機材・材料の調達、模擬店用食器類の調達・バザー品の協力依頼、着ぐるみの借用依頼、駐車場係りの整備

【チャリフェスタ 収支報告】 ●収入 お祝い金・当日チケット売上げ ¥560,399
●支出 準備費用 ¥125,564

課題

●盆踊り

- ・W.A.Gバンドが今後も出演される場合のスケジュール設定、熱中症対策。
- ・提灯の劣化による不灯対策

●チャリフェスタ

- ・販売開始時間前のお客誘導方法について
- ・W.A.Gバンドが今後も出演される場合のスケジュール設定、雨対策。

あやめ協力会

30年度はあやめ協力会は地域交流・地域参加をスローガンに活動に取り組んでまいりました。

内容としましては5月20日(日)にあやめ協力会員への平成29年度活動報告と30年度の活動計画の伺い、また当法人への叱咤・激励を目的に、「第13回あやめ協力会総会」を実施しました。 ※総会では県会議員・市長にもご参加いただき、活発な意見交換の場となりました。会員募集の用紙を活用し、新会員募集に努めました。

この協力会総会で承認・依頼を受け、11月18日(日)に「第10回あやめ寮チャリフェスタ」を開催いたしました。今年度も地域活動団体※和太鼓保存会 フラダンスチームの発表、他施設とのカラオケ歌合戦を行い、また、屋外ではW.A.Gのバンド演奏、バザーや焼きそば・芋煮、お餅の販売も行い、大変盛り上げて頂いたと共に、各利用者のいきいきした表情がとても印象的でした。

今後も地域へ当法人をアピールして、あやめ協力会の活動がより良いものになるようになればと考えております。

主な活動

- 第14回あやめ協力会総会の実施。 ●第10回あやめチャリフェスタの開催。
- あやめ協力会会員の募集活動。 ●会報あやめの定期送付。

課題

●あやめ協力会員の募集活動・・・会員の減少が否めない状態なので、会員の特典検討をする。

実習生・ボランティア

- 30年度の受け入れ（オリエンテーション・実習・評価）
- 31年度の受け入れ調整
- 責任実習を実施
- 地域での実習実施

《30年度受け入れ》

- ・詳細は活動実績を参照。
- ・オリエンテーションは複数の学校を同時に実施。

活動実績

| | | | |
|----------|----|----------|----|
| 埼玉保育教育学園 | 5名 | 越谷保育専門学校 | 2名 |
| 貞静学院短期大学 | 4名 | 東京教育専門学校 | 4名 |
| 東京福祉大学 | 2名 | 川口短期大学 | 2名 |
| 武蔵野短期大学 | 2名 | 帝京平成大学 | 2名 |
| 東京未来大学 | 4名 | | |

※年間 9校 27名 延べ162日間

・補足事項

オリエンテーション資料・マニュアルの見直し。

事前説明会については、電話にて確認をしているが学校側の都合により実施は難しい。

実習生を採用に繋がられるようにしていく。

介護等体験実習

2018年度受入依頼 16名（うち2名が進路変更による辞退）

短期・日中一時

● 普段の短期入所・日中一時の受け入れに関しては、変更なく行っております。日曜日のみ職員体制の関係で日中一時は 15:00 までの受け入れとなりました。今年度も、新規利用される方が複数おりました。また、新規利用の方の利用希望は、主に将来的に施設入所を考えており、施設に慣れていただくことを目標に利用されている方が多い傾向です。そして、両親が高齢となり自宅での支援が困難になったことで、施設利用を希望・開始する方もおりました。

● 7月より、緊急 SS 受け入れ希望があり、31年3月現在も受け入れ継続しています。

● 昨年同様、支援センター以外にも、地域の相談専門員・支援学校・他施設からも見学や受け入れの希望連絡が来ています。また、適時情報交換などを行ない、利用者の現状や状態の把握に努めています。

● 日中一時・短期利用を担当されている相談専門員の方からも聞き取りも以前より増えてきており、実際にモニタリングにも参加しています。

● 短期利用の方の個別支援計画書を作成しています。

主な活動実績

● 日中一時・短期入所利用者の受け入れ調整

● 利用希望者の相談・見学・契約対応

● 個別支援計画書の作成

● 利用時の課題解決・環境整備への取り組み

課題

● 新規の利用希望者数が増えており、対応職員不足に感じています。

● 今年度の収入のまとめ・利用人数のまとめについては別紙を参照。

平成 30 年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告 (日中一時)

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 半期計 |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------------|----------------------|
| 利用人数 | 17(18) | 15(16) | 14(18) | 12(17) | 14(19) | 13(19) | 85(107) |
| 利用回数(回) | 59(44) | 59(49) | 54(46) | 51(52) | 60(48) | 66(61) | 349(300) |
| 利用者負担金計(円) | 42,944 (43,449) | 43,528 (39,452) | 39,349 (36,775) | 39,664 (39,926) | 41,419 (32,596) | 36,092 (43,642) | 242,996 (235,820) |
| 市町村負担額(円) | 166,776 (160,451) | 174,702 (158,198) | 152,061 (142,225) | 129,986 (163,524) | 173,241 (131,724) | 149,908 (179,118) | 946,674 (935,240) |
| | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 半期計 |
| 利用人数 | 13(19) | 14(18) | 14(16) | 15(12) | 15(17) | 15(19) | 86(101) |
| 利用回数(回) | 50(58) | 43(46) | 39(52) | 34(17) | 59(54) | 45(60) | 270(287) |
| 利用者負担金計(円) | 33,287 (41,867) | 28,685 (36,974) | 27,630 (42,192) | 29,829 (15,923) | 29,576 (44,579) | 36,397 (49,104) | 185,377 (230,639) |
| 市町村負担額(円) | 130,883 (165,183) | 125,465 (150,416) | 123,670 (175,208) | 116,681 (64,617) | 118,494 (183,251) | 150,443 (195,366) | 765,636 (934,041) |
| 合 計 | | | | | | ¥ 2,140,710 (¥ 2,335,760) | |

昨年度比 ¥2,335,760 (91.6%)

平成 30 年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告 (短期)

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 半期計 |
|------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 利用人数 | 8(14) | 13(9) | 10(9) | 11(10) | 14(12) | 11(9) | 67(63) |
| 利用日数(回) | 23(42) | 39(25) | 32(32) | 33(40) | 46(60) | 76(56) | 249(255) |
| 利用者負担金計(円) | 28,790 (27,940) | 39,334 (24,150) | 30,650 (30,340) | 26,150 (36,500) | 34,230 (63,350) | 53,650 (65,280) | 242,996 (247,560) |
| 市町村負担額(円) | 613,991 (626,837) | 595,464 (668,678) | 502,152 (721,502) | 567,813 (772,129) | 610,114 (670,765) | 796,139 (701,906) | 3,685,673 (4,161,817) |
| | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 半期計 |
| 利用人数 | 10(10) | 12(6) | 11(5) | 12(2) | 10(5) | 13(10) | 68(38) |
| 利用日数(回) | 76(36) | 58(22) | 72(18) | 75(7) | 58(17) | 68(32) | 407(132) |
| 利用者負担金計(円) | 75,190 (70,841) | 54,230 (57,540) | 66,480 (40,690) | 63,910 (2,380) | 52,610 (18,650) | 64,630 (32,212) | 346,858 (222,313) |
| 市町村負担額(円) | 877,041 (745,292) | 760,531 (629,008) | 899,946 (662,002) | 824,442 (515,392) | 689,008 (605,554) | 861,282 (765,082) | 4,912,250 (3,922,330) |
| 合 計 | | | | | | ¥ 11,328,487 (¥ 8,554,020) | |

昨年度比 ¥8,554,020 (132.4%)

保護者会担当

- 毎月の行事や誕生日会の写真を掲載したあやめだよりを毎月作成。
- 毎月の面会日にて、面会家族への質疑応答・利用者様の近況報告を実施。
- 盆踊り・チャリフェスタ・三者面談の時期は、面会日は行なわないが、送付物は作成し、家族へ郵送。
- 今年度は、保護者新年会の参加率が前年度に比べ低下している。感染症流行時期でもあるためやむを得ないが、来年度以降も保護者会からの積極的な働きかけを促進していく。

30年度面会日 来寮家族数

| 月 | 人数 | 月 | 人数 |
|----|----------------|-----|-------------|
| 4月 | 20名 | 10月 | 22名 成年後見研修会 |
| 5月 | 21名 保護者会総会/協力会 | 11月 | あやめチャリフェスタ |
| 6月 | 23名 保護者会全大会 | 12月 | 22名 |
| 7月 | 20名 | 1月 | 13名 保護者新年会 |
| 8月 | 盆踊り大会 | 2月 | 19名 |
| 9月 | モニタリング実施 | 3月 | 三者面談 |

備品係

平成 30 年度の備品係事業活動としまして、施設運営及び利用者支援に必要な備品の購入・管理を主な活動として取り組んでまいりました。

〈活動内容〉

- 各備品のチェック（主に洗剤・消毒類、トイレットペーパーやティッシュボックス、ほうき・ビニール等の掃除用品）
- 月に一回の購入品のチェック
 - ・月別と累計での費用が一目で分かるように法人のパソコン内に購入リストを作成。
- 全体周知及び朝礼等で備品の節約※洗剤の投入量のアドバイスやトイレットペーパー等の数量の報告。

【活動実績】

- 各備品の管理・チェック及び不足分の補充（終日）
- 購入品のチェック・購入リストを作成。（月に1回）
- 全体周知及び朝礼等で備品の節約※洗剤の投入量のアドバイスやトイレットペーパー等の数量の報告。（随時）

平成 30 年度 備品収支報告 () は前年数値

| 月 | 金額 | 月 | 金額 |
|-------|--------------------|----------------------|--------------------|
| 4 月 | ¥94,318 (63,924) | 10 月 | ¥79,642 (114,833) |
| 5 月 | ¥78,191 (105,564) | 11 月 | ¥77,117 (67,271) |
| 6 月 | ¥96,422 (69,780) | 12 月 | ¥104,240 (105,025) |
| 7 月 | ¥107,594 (88,461) | 1 月 | ¥72,320 (73,583) |
| 8 月 | ¥77,204 (58,180) | 2 月 | ¥135,883 (75,425) |
| 9 月 | ¥118,150 (55,239) | 3 月 | ¥31,359 (60,106) |
| 上半期累計 | ¥571,879 (441,148) | 下半期累計 | ¥500,561 (496,243) |
| 年間累計 | | ¥1,072,440 (937,391) | |

※一昨年度年間支出¥790,807→昨年度年間支出¥937,391→今年度¥1,072,440

昨年度比約 15%経費増（昨年度 17%経費増）

課題

- ・利用者用ティッシュが支援室にあつたりするなど、職員用・利用者用で混じってしまっていることがあり、新職員も入社するため改めて周知や説明を行う。
- ・SS 利用者にペーパー類を無駄遣いしてしまう方がおり、トイレットペーパーの消費が早いため、何か対策が取れば対応を行っていく。
- ・ジャンボロールが一時期入荷不可となり、代用としてジャンボロールミニを使用していたが、少ない分すぐ使い切ってしまう、また純正サイズよりも値段が高いため、昨年度よりも支出増加の要因となってしまった。

地域貢献PJT

毎月委員会にて「こども食堂」運営に向けての施策の共有、他取り組み箇所への見学、こども食堂関連の研修参加の経過をたどっております。

9月26日（水）NPO法人こども包括支援センター理事長 野口和幸氏をお迎えし、埼玉県内のこども食堂の動静並びに運営に関してのレクチャーを受けております。

1月24日（木）宮代町社協にて運営されている「ゆうやけひろば（こども食堂）」の見学をさせていただき実際の運営を拝見させて頂き、来る運営の参考にさせていただきました。

11月26日（月）大宮ソニックシティ

2月14日（木）さいたま市商工会館にてこども食堂フォーラム

3月15日（金）こども食堂セミナーに参加。

3月中に法人内職員公募によるこども食堂ネーミング募集と委員会による審査を経て「あやめ笑顔食堂」に決定となる。

【課題】

新年度においては、春夏秋冬の年4回の開催を予定。直近としては5月26日（日）に開催決定。春夏は法人内を拠点として実施見通しであるが、活動場所を以後どこに設定していくか？場所を転々としていくうえでの参加募集方法の方策等修正しながらの取り組みになるものと捉えている側面があります。

美化

- 施設内・外の清掃、整理整頓、修繕等を実施・定期的な除草剤散布の実施。
- ・毛虫の殺虫剤散布の実施・施設内害虫駆除の実施（年2回：本棟・新棟共）
- ・施設回り植木の剪定の実施・施設内年末大掃除・乾燥機の煙突の定期的な掃除
- ・粗大ゴミ等のゴミ出し対応・壁紙、水漏れ等、対応可能な範囲での修繕
- ・業者対応が必要な修繕の連絡、現場との調整

【活動実績】

- 4月除草剤散布
- 5月A棟B棟居室・共有部分壁紙修繕
- 5月24日 新棟害虫駆除 6月7日 本棟害虫駆除
- 6月3日 本棟乾燥機煙突清掃。6月中旬除草剤散布
- 7月2日：害虫駆除（水回り）、8日：除草剤散布 9日：玄関前花壇整理
- 8月 除草剤散布
- 9月 施設周り廃棄物処理
- 9月 A棟洗濯場蜂の巣駆除
- 10月 B棟トイレ詰まり修理
- 10月 本棟 新棟害虫駆除（水回り）
- 11月 スプリンクラー清掃。
- 12月 本棟、新棟害虫駆除 年末大掃除 居室カーテン洗濯
- 2月 粗大ゴミ置き場清掃
- 3月 除草剤散布 A棟利用者トイレ修理

【主な活動】

- 4月より棟内の椅子、テーブルのねじ閉め作業を行っている。
- 害虫駆除
- 除草剤散布
- 壁紙修理
- 大掃除

課題

- 壁紙を修理しても、すぐに剥がされてしまい、修理してもあまり効果が見られない。また、長年の汚れが全体的に目立ってきている。
- 害虫駆除はIDSサービスさんに依頼している。
- 厨房のねずみ問題があり、6月に穴を鉄板で塞いだが、7月、8月にも厨房から「ねずみがでた」と報告あり。ねずみ捕りシートを現在配置して対応している。
- 蜂の巣駆除は出来る限り美化整備係で対応。

車輛

平成 30 年度の車輛系の事業活動としまして、まず、職員の車輛の設備点検・清掃・安全の意識を高めるための活動に取り組みました。

〈活動内容〉

- 各車輛に車輛責任者を設置し、月に 1 回の車輛の点検・清掃の実施。
※利用者にきれいな車輛での送迎提供をこころがけました。
- 月に一回の運行簿のチェック
※県からの指導もあり、新しい運行簿を作成し（※車両責任者の確認印の欄を追加）、責任者に担当車両に対する意識の向上を図りました。
- 季節による車輛装備品のチェック
※冬季にスタットレスタイヤの着用、インフルエンザ感染症予防のための医療品
- 各車輛の車検日の一覧表を作成。
- 各車輛の駐車場所の設定。

課題

- 残念ながら今年度も車輛に関する事故の発生がしばしば見受けられました。今後、事故軽減・車輛に関する基礎知識の向上を図る為、運転・車輛に関する研修の実施等は必要と思われます。
- オイル交換の時期が過ぎてしまうことがしばしば見受けられたので、時期の目安が明確になるよう工夫して、交換時期が過ぎてしまわないようにする。

広報委員会

- 広報誌あやめの作成・発行・ホームページの管理・ブログの更新(適宜)
7月発行…会議実施月(4月・5月・6月※7月は広報紙郵送準備)※例年6月の発行だが、今年度も決算報告の関係で7月発行となった。→7月発行分記事内容：開寮 30 周年記念式典、花見、盆踊り大会の告知、副施設長からの挨拶、平成 29 年度決算報告、相談事業、新任職員紹介、入社式・辞令式、埼玉県社協の就職フェアへの参加、埼玉県の「多様な働き方実践企業」への認定、地域との交流、希望旅行、防災訓練、健康診断、災害時福祉避難所の設置運営に関する協定書の調印式、協力会・寄付金、頂き物
10月発行…会議実施(8月・9月※10月は広報紙郵送準備)→10月発行分記事内容：盆踊り大会、あやめチャリフェスタの告知、採用活動に関して、利用者ボウリング大会、希望旅行、他施設との交流、地域の納涼祭、歯科検診、虐待防止施設内研修、協力会・寄付金、頂き物、盆踊り大会の御祝金・ボランティア
2月発行…会議実施(12月・1月※2月は広報紙郵送準備)→2月発行分記事内容：クリスマス会、年末年始の様子、新年会、理事長・施設長からの新年の挨拶、あやめチャリフェスタ、希望旅行、内定式、協力会・寄付金、頂き物、あやめチャリフェスタの御祝金・ボランティア

ホームページ

ホームページに関しては、昨年度同様に、情報発信として「支援員ブログ」を中心に、できる限り身近な情報を更新し、事業所の取り組みを紹介している。

現在では、リクルーターへの広報ツールとしての機能がメインとなりつつあるが、他法人からも注視していただいております、相乗効果として取り組みを公開することで、振り返りや確認にも活用できている。以降に、アクセス数の数値を示すデータを添付しているが、非常にアクセス数が向上してきており、とくにモバイルビューの伸びが著しくなってきた。今後も親しみのもてる情報発信を心掛けていきたい。

ホームページアクセスランキング（上位6件）

ページアクセス詳細

| ホームページ内における内容 | 訪問者数 | ページビュー |
|--|------|--------|
| 社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮/ あやめ日記（支援員ブログ） | 4159 | 8597 |
| あやめ日記（支援員ブログ） mobile | 3454 | 12763 |
| あやめ日記（支援員ブログ） | 2430 | 2461 |
| 社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮 mobile | 951 | 966 |
| 埼葛北障害者生活支援センターひらの 相談支援 スタッフ紹介 | 242 | 715 |
| | 174 | 1220 |

平成 30 年度アクセス状況

| | | | |
|---------|-----------------|-----|--------|
| 訪問者数 | 16,211 (11,562) | 前年比 | 140.2% |
| ページビュー | 59,564 (36,921) | 前年比 | 161.3% |
| モバイルビュー | 55% (54%) | 前年比 | 101.8% |



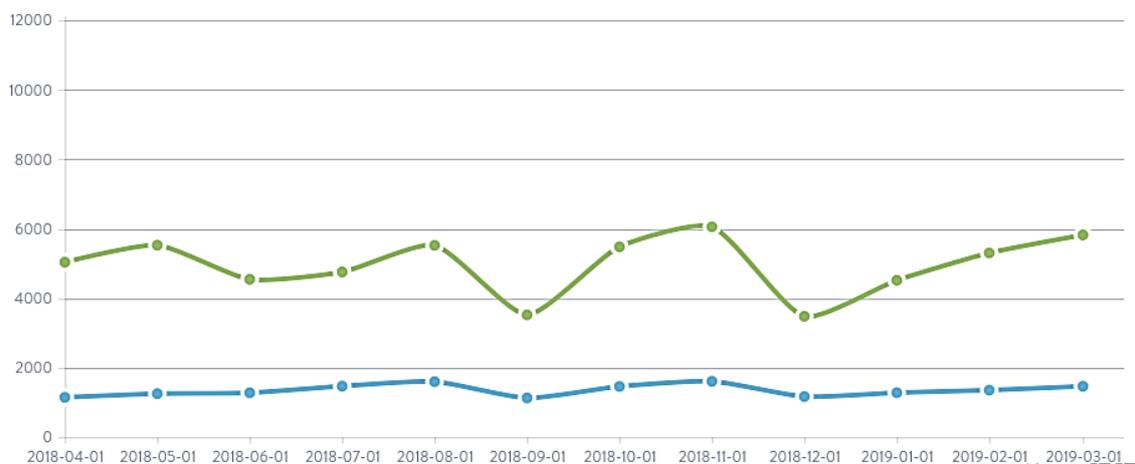
16,221
訪問者数



59,564
ページビュー



55%
モバイルページビュー



職場研修

職員体制や職員教育の分野では、施設内にて新任職員研修・フォローアップ研修を定期的に開催し、引き続き企画する側も大変勉強になった一年となりました。また、県社協等の外部研修等へそれぞれの階層に求められる内容を精査して派遣するなどし、全職員に自己研鑽の機会を効果的に設定し、内部研修と外部研修を織り交ぜながら、日常のOJTでも丁寧に先輩職員が指導育成する体制づくりを意識してきました。個別には、県の強度行動障害支援者養成研修への派遣に重点を置き、かなりの職員が受講終了となっております。また、9月に「障害者虐待防止・権利擁護研修」を全職員対象として、社会福祉法人邑元会障害者支援施設 施設長 相浦卓也氏をお招きして実施致しました。今後も、支援の骨格となる研修機会を大切にしながら育成に繋げてまいります。

これらに加えて、職員研修旅行ということで他法人の見学・研修会参加を兼ねて、職員の親睦を意図した旅行を今年度に関しては3グループで開催し、それぞれの班で、親睦を深めつつ、他法人の取組みを学んでまいりました。

現在はこのような形で研修会を企画実施しておりますが、昨年度に引き続きの課題として、今後の計画や検討事項ということで中堅職員層へのアプローチ、底上げにもう少しケアしていくことでさらに支援力が高まってくるとは思わないかと考えております。どうしても、「知っている」「できる」と見てしまう中堅層ですが、切磋琢磨する機会を共有できればひと味違うのではと期待しております。

また、各所で「連携」「繋がり」というキーワードをよく耳にしますが、私ども障害福祉サービス事業所においても、このキーワードが非常によく使われております。他法人との合同施設内研修会などを実践されている法人も埼玉県内にはいくつか事例がございます。この形態にも注目しており、埼玉県発達障害福祉協会の部会や委員会などで知り合った他法人とも、お祭りへの行き来や、庄内様のような施設内研修への参加など様々な交流を深めながらお付き合いさせていただいている中で、法人間合同の施設内研修会を模索しながら引き続き検討を進めておるところです。また、採用関係における交流も活性化してきており、神奈川県横浜市の社会福祉法人幸会様の見学来寮など、違ったチャンネルも創出してまいりました。他施設の交流による刺激は、お互い大きな作用になると考え、双方にメリットがでるような交換研修なども実現すると、さらに法人内育成プログラムが骨太プログラムとなり、職員の成長や育成につながるのではないかと期待しております。

平成 30 年度 主な研修参加実績

| 研修名 | 時期 | 主催 | 参加者 |
|-----------------------|------|-------------------------|----------------------|
| 新任職員研修① | 4 月 | あやめ寮 | 新入職員 |
| 新任職員研修② | | | |
| 新任パック研修①② | | 埼玉県社会福祉協議会 | |
| 新任パック研修③④ | 5 月 | 埼玉県社会福祉協議会 | 小林 |
| あんしんセーフティネット事業担当相談員養成 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 岡安 |
| パート職員新任研修 | | あやめ寮 | 新任職員 |
| サビ管・相談共通講義 | 6 月 | 埼玉県 | 岡安・佐伯・横田・松島 |
| 中堅キャリアパス研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 照沼 |
| 新任職員研修 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 小林 |
| 発障協青年部会 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 桑原 |
| BCP 研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 桑原 |
| 経営協青年会宿泊研修 | | 埼玉県経営青年会 | 杉村 |
| プチパワーアップセミナー埼玉 | | プチパワーアップセミナー 埼玉実行委員会 | 杉村・中島 |
| 安全衛生管理講習会 | | | 石田 |
| 社会福祉士実習指導者講習会 | 7 月 | | 瀬谷 |
| 強度行動障害支援者養成研修基礎 | | 埼玉県 | 谷元 山口 本澤 関根 |
| 新卒採用セミナー | | 株式会社リクルートキャリア | 杉村 |
| 青年部会県外宿泊研修（神奈川） | 8 月 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 桑原 |
| 強度行動障害支援者養成研修基礎 | | 埼玉県 | 谷元 山口 本澤 関根 |
| 相談支援従事者初任者研修 | | 埼玉県 | 岡安 |
| 虐待防止研修会 | 9 月 | あやめ寮 | 全職員 |
| サビ管講義 | | 埼玉県 | 佐伯 横田 松島 |
| 障害者相談支援従事者専門研修 | | 埼玉県 | 瀬谷 |
| 相談支援従事者初任者研修 | | 埼玉県 | 岡安 |
| 安全衛生管理講習会 | | | 石田 |
| 新卒採用セミナー | | 株式会社リクルートキャリア | 杉村 |
| サビ管連絡会展示販売会・勉強会 | 10 月 | 埼玉葛北サビ管連絡会 | 浅川 中島 佐伯 山崎 長野 松本 |
| 発障協中堅職員研修 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 照沼 日俣 |
| 初任者キャリアパス | | 埼玉県 | 簗島 |
| 人事管理コース | | 全国社会福祉協議会 | 杉村 |
| 障害者相談支援従事者専門研修 | | 埼玉県 | 瀬谷 |
| 介護記録の書き方研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 谷元 |

| | | | | |
|--------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------------|
| 新任職員フォローアップ研修 | 11月 | 埼玉県社会福祉協議会 | 本澤 山口 | |
| 介護事業経営者セミナー（パネラー） | | 埼玉県福祉人材センター | 柿沼 | |
| 初任者キャリアパス | | 埼玉県 | 寰島 | |
| 利用者部会 虐待防止利用者向研修会 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 松島 菊地（小松 佐伯） | |
| サービス管理責任者研修 生活介護 | | 埼玉県 | 杉村（スタッフ） | |
| 利用者部会 虐待防止利用者向研修会 | 12月 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 桑原 本澤（小松 佐伯） | |
| 介護等体験説明会 | | 埼玉県福祉人材センター | 佐伯 杉村（発表） | |
| 人材採用定着の在り方 | | 埼玉県経営青年会 | 杉村 柿沼（スタッフ） | |
| サービス管理責任者研修 生活介護 | | 埼玉県 | 横田 佐伯 松島 杉村（スタッフ） | |
| 障害者相談支援従事者専門研修 | | 埼玉県 | 瀬谷 | |
| 障害者相談支援従事者現任研修 | | 埼玉県 | 瀬谷 | |
| 発障協青年部会 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 桑原 | |
| 介護事業経営者セミナー | | 埼玉県福祉人材センター | 杉村 | |
| 障害者相談支援従事者現任研修 | | 埼玉県 | 瀬谷 | |
| チューター養成研修 | 1月 | 埼玉県社会福祉協議会 | 小林 | |
| 社協中堅フォローアップ研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 井筒 石田 | |
| 社協新任フォローアップ研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 伊藤 谷元 菊地 | |
| アンガーマネジメント研修 | | 埼玉県社会福祉協議会 | 山中 | |
| 施設長幹部職員研修 | | 埼玉県発達障害福祉協会 | 杉村 小松 | |
| 強度行動障害支援者養成研修【基礎】 | | 埼玉県 | 谷元 菊地 小林 | |
| 新任職員研修 | | 2月 | あやめ寮 | 工藤 服部 池田 寰島 小林 |
| 強度行動障害支援者養成研修【基礎】 | | | 埼玉県 | 谷元 菊地 小林 |
| サービス管理責任者フォローアップ研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | | 杉村 桑原 | |
| 青年部会 | 埼玉県発達障害福祉協会 | | 桑原 | |
| ホーム世話人研修 | 埼玉県発達障害福祉協会 | | 浅川 | |
| 新任職員フォローアップ | あやめ寮 | | 谷元 山口 内藤 菊地 本澤 小林 | |
| 外国人材の受け入れ | 埼玉県 | | 杉村 | |
| 定住外国籍介護人材受入れ支援セミナー | 埼玉県福祉人材センター | | 杉村 | |
| 介護経営イノベーション | 3月 | 社会福祉法人合掌苑 | 杉村 | |
| 埼玉県相談支援専門員SV専門研修 | | 埼玉県相談支援専門員協会 | 瀬谷 | |
| 人事考課運用研修 | | あやめ寮 | 佐伯 松島 横田 瀬谷 柿沼 | |
| 新入職員入職前事前研修 | | あやめ寮 | 新入職者 | |

平成 29 年度職員研修旅行(宿泊研修)

| 研修種別 | 時期 | 研修先 |
|---------|-----|---------------------------------|
| 職員研修旅行① | 1 月 | 社会福祉法人日和田会（埼玉県日高市） 参加者 7 名 |
| 職員研修旅行② | 2 月 | CareTEX2019 参加者 8 名 |
| 職員研修旅行③ | 2 月 | 社会福祉法人翡翠会（千葉県大網白里市） 参加者 10 名 |

関係機関・団体出向者

| 関係機関・部会等 | 機関名 | 主な参加者 |
|-----------------------|-----------------|------------|
| 青年部会 | 埼玉県社会福祉法人経営者協議会 | 柿沼隆 |
| 埼玉県発達障害福祉協会 | | 大澤・杉村 |
| 障害者支援施設部会 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 杉村 |
| 地域生活支援部会 | | 浅川 |
| 相談支援部会 | | 瀬谷 |
| 虐待防止・権利擁護委員会 | | 小松 |
| 青年部会 | | 桑原 |
| 利用者支援委員会 | | 佐伯 |
| 人材確保プロジェクト | | 杉村・瀬谷 |
| サービス管理責任者フォローアップ研修委員会 | | 杉村 |
| 埼葛北自立支援協議会 サビ管連絡会 | | 埼葛北自立支援協議会 |
| 埼葛北ケアマネ部会 | 埼葛北自立支援協議会 | 桑原・松島 |

採用活動

昨年度に引き続き、平野の里として「リクナビ」を活用した新卒採用活動を継続的に取り組んでおり、リクナビシステムのなかで、「インターンシップ」「会社説明会」「体験実習」「面接」というプロセスを活用しながら、学生に対して職場の魅力や仕事内容を紹介している。今年度は、リクナビだけではなく埼玉県社会福祉協議会の合同就職説明会への参加（さいたま市）と埼玉県労働局主催の「レインボー面接会」への参加、例年さんかっせていただいている埼玉純真女子短期大学様のマッチングフェア、リクルート主催の「インターンシップ&仕事研究LIVE」と昨年度以上に活動の幅が広がり、様々な活動を経て大きな経験に繋がる一年となった。

併せて、今年度も精力的に学校訪問を実施し、計13校の学校訪問（複数回訪問校もあり）、新規で5校の訪問と、更なるパイプ作りを意識して活動を行った。

今年度に限らず、全体数は減少傾向にある中で、接点を持つことが出来た学生の皆さんお一人お一人に対して丁寧に対応し、県外（中部・関西圏）からの内定者やエリア外の応募者が多数を占め、留学生の対応なども新たな経験ができた。

内定者数は一昨年同様に巻き返す結果となったが、これからさらに厳しい情勢を迎える中で、引き続き、法人の魅力づくり・選ばれる法人づくりを併せながら、採用活動を行っていきたくと考えている。今年度の傾向として、インターンシップに注力出来た結果、昨年度よりも300%増という数値が得られ、学生の皆さんとの接点が非常に多い年となった。

以降に示すデータは、会社説明会を実施した際に毎回協力いただいているアンケート結果を集計したものである。サンプル数は決して多いとは言えず、また、昨年度の数値も含めながら傾向を紹介することとしたが、学生には説明会や職場体験を通じて、福祉現場の魅力伝える良い機会となっていることはデータからも読み取れる。

採用活動は「種まき」をしなければ何も始まらないという考えのもと、採用から入職、職員育成というトータル的な人材育成を組織として構築していく必要があり、この部分を重要課題と捉え、数年先を見据えた取り組みを展開していきたい。

平成30年度主な実績（※介護等体験実習は参考数値）

| | インターンシップ | 採用会社説明会 | ※介護等体験実習 |
|----|----------|---------|----------|
| 男性 | 1 | 3 | 8 辞退2 |
| 女性 | 15 | 6 | 6 辞退0 |
| 合計 | 16 | 9 | 14 |

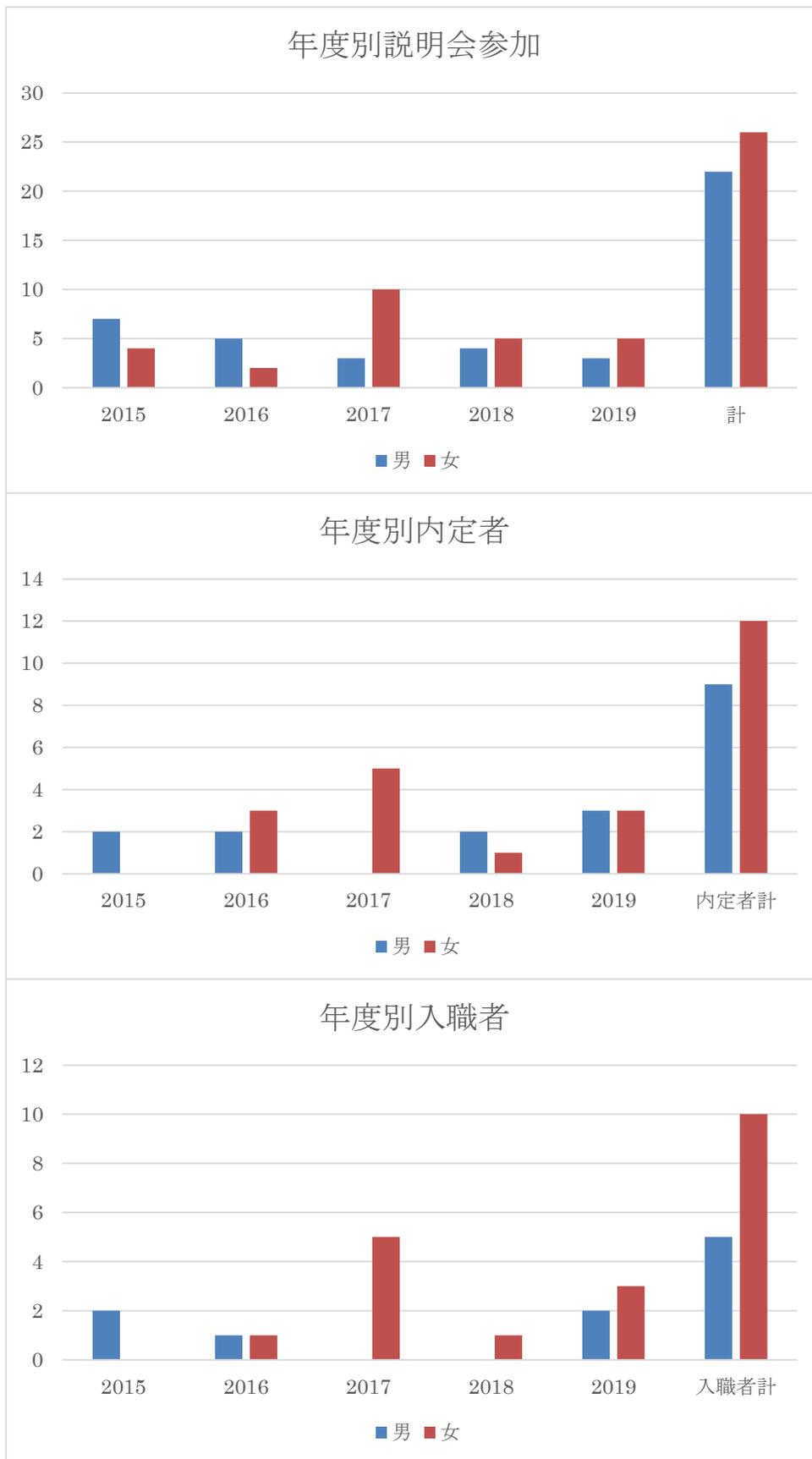
・インターンシップ実績

2020 インターンシップ 累計 16名予約参加 ・ 延べ日数 24日

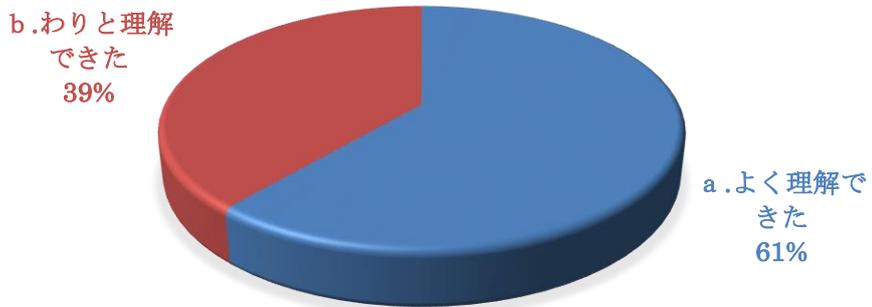
2019 インターンシップ 累計 8名予約参加 ・ 延べ日数 8日

前年比 予約者数 200%UP ・ 延べ日数 300%UP

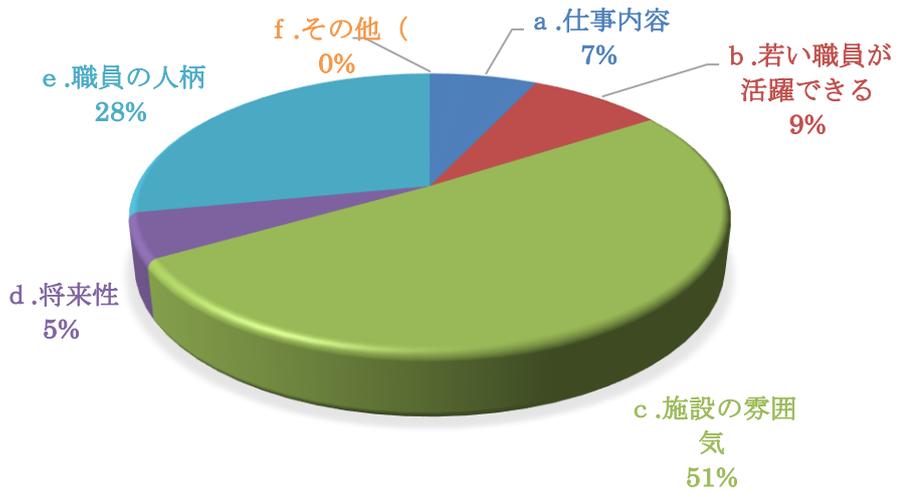
会社説明会実施後のアンケート結果



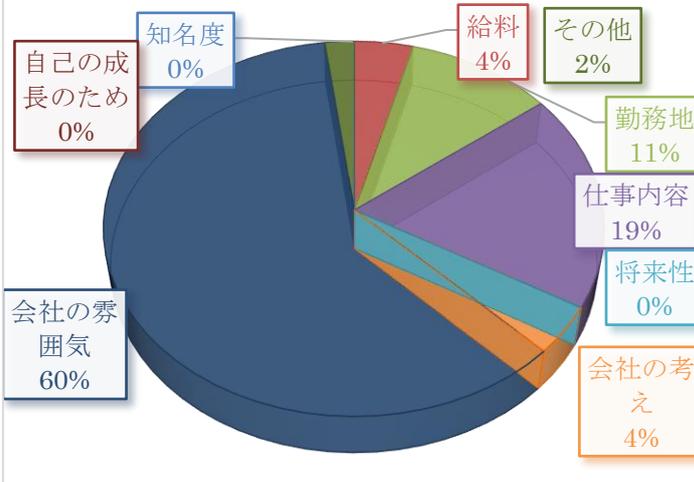
当法人についてどの程度ご理解
いただけましたか？



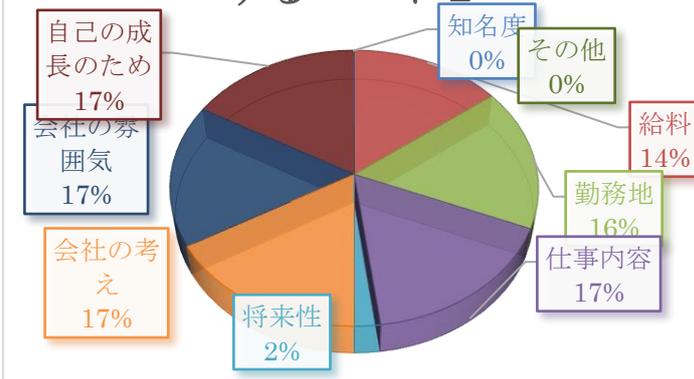
一番魅力を感じたのは何ですか？



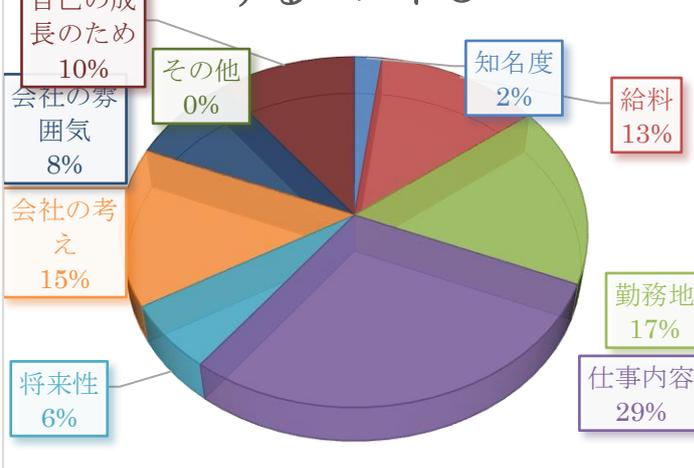
就職するにあたり重要視するベスト1



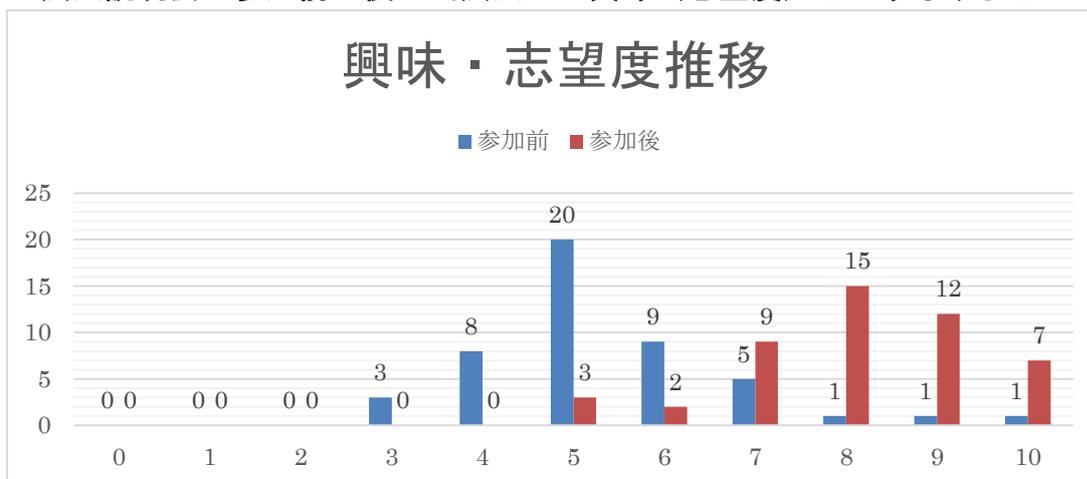
就職するにあたり重要視するベスト2



就職するにあたり重要視するベスト3



4. 法人説明会の参加前と後で当法人への興味（志望度）はどうなりましたか？



| 相談会イベント | | | | |
|-----------------|----------------------------------|----|-----------------|-------------------|
| 2018年 7月22日 | 埼玉県レインボー面接会 | 記名 | 2 | 採用 1 |
| 2018年 9月26日 | 埼玉純真短大 マッチングフェア | 記名 | — | 内定 0 |
| 2018年 11月10日 | インターンシップ&仕事研究 LIVE 大宮 リクルート主催 | 記名 | 20 男11 女9 | I S 参加 2 |
| 2019年 3月10日 | 大宮 合同就職フェア 埼玉県社協人材センター主催 | 記名 | 6 | 内定 — |